

頑張ってます!
同窓生紹介

「日展会友の陶芸作家」

昭和45年卒業 伊藤 彰 敏さん

伊藤さんは本校卒業後、八十二銀行、その後浜沢工業(株)へ就職。勤務の傍ら趣味の陶芸を始め、昭和51年には退職して土岐市陶磁器試験場で三年間の研修の後、茅野市城山に窯を築き、昭和56年、日本現代工芸美術展に初入選。昭和58年には日展に初入選。なお日展には26回入選し、平成14年には「特選」を受賞している。



昭和26年諏訪市四賀細久保に生まれた伊藤さんは、日展参与の宮坂房衛、彫刻家の矢崎虎雄は遠縁に当り、お父さんも美術弓道部。また、図書委員長も務めた。

品蒐集が好きだったため、美術品の鑑賞に興味を持ち、中学では美術部に、高校では美術の選択をしたが、高校でのクラブは弓道部。また、図書委員長も務めた。

高校一年生のとき、旧校舎から新校舎へ図書を移動したこと、天竜下り強歩大会で仲間と歩いたことが懐かしい思い出のこと。

昭和45年高校を卒業して八十二銀行へ入行。三年後浜沢工業へ転職。会社では日本画の同好

陶芸を始め、三年後の昭和51年、周囲の反対を押し切って岐阜県土岐市で下宿生活しながら土岐市陶磁器試験場へ通い、スケッチやデザイン、ロクロづくり、釉薬の調合、型作り等々寝食を惜しんで学んだ。

昭和54年、28歳で諏訪に戻り、茅野市で築窯を目論んだが一部

会に入ったりもしたが陶芸には無縁だったという。

伊藤さんの陶芸との出会いは、安曇野池田町のマキノ真三さんの「陶芸村」に毎週土・日に習いに行ったことから始まる。

その後講師として先生のお手伝いもするようになり、全国各地の窯場や美術館を巡ったり、展覧会を見て歩いたりして陶芸家を目指す決意を固めたという。

陶芸を始め、三年後の昭和51年、周囲の反対を押し切って岐阜県土岐市で下宿生活しながら土岐市陶磁器試験場へ通い、スケッチやデザイン、ロクロづくり、釉薬の調合、型作り等々寝食を惜しんで学んだ。

昭和54年、28歳で諏訪に戻り、茅野市で築窯を目論んだが一部

頑張ってます!
同窓生紹介

「歌唄で人生を豊かに」

昭和27年卒業 桜井 孝さん

桜井さんは本校卒業後、大阪の十合百貨店へ勤務したが、家の事情で帰省し、家業の洋服店と服装学院を継ぎ、その頃から郡内各地の分館より民謡指導を依頼されたのをきっかけに「全日本民謡協会公認教授」の資格を得て、諏訪郡市各地に民謡教室を開き現在では歌謡曲を含めた「桜井峰雪歌謡会」を主宰している。

下諏訪町に生まれた桜井さんは、昭和21年小学校卒業後岡谷工業学校へ入学。昭和24年本校へ転入学した。高校でのクラブは陸上部。競馬場(現在の校舎所在地)や、弁天町の工場跡地(旧校舎)のガレキを片付けながら練習をしたことを思い出すとのこと。

昭和27年本校を卒業した桜井さんは大阪の十合百貨店に就職したが、翌年家の事情で帰郷し家業の洋服店と諏訪服装学院を継ぎ、その頃から郡内各地の分館より民謡指導を依頼されたのをきっかけに「全日本民謡協会公認教授」の資格を得て、諏訪郡市各地に民謡教室を開き現在では歌謡曲を含めた「桜井峰雪歌謡会」を主宰している。

船祭りなどで歌った「長持ち歌」の美声を買われ、下諏訪二区に分館で民謡指導を依頼されたことをきっかけに各地の分館や公民館からの依頼が殺到。昭和56年には「岡谷民謡愛好会」をはじめ各地に「民謡愛好会」を立ち上げ15団体、生徒数百八十人にも及んだ。

昭和57年にはテレビ信州「日本民謡大賞」に出演。その後東京・静岡・山梨などで行なわれた「全国民謡大会」にも出演した。なお、桜井さんは詩吟も得意で、九段会館で行なわれた「全国詩吟大会」にも出演している。また、昭和60年から十数年全日本民謡協会副理事長を務め、「第四回全国民謡大会」では実行委員長も務めた。

平成10年にはカラオケに押さ



「花嫁行列」 前列中央が桜井さん

昭和27年本校を卒業した桜井さんは大阪の十合百貨店に就職したが、翌年家の事情で帰郷し家業の洋服店と諏訪服装学院を継ぎ、その頃から郡内各地の分館より民謡指導を依頼されたのをきっかけに「全日本民謡協会公認教授」の資格を得て、諏訪郡市各地に民謡教室を開き現在では歌謡曲を含めた「桜井峰雪歌謡会」を主宰している。

船祭りなどで歌った「長持ち歌」の美声を買われ、下諏訪二区に分館で民謡指導を依頼されたことをきっかけに各地の分館や公民館からの依頼が殺到。昭和56年には「岡谷民謡愛好会」をはじめ各地に「民謡愛好会」を立ち上げ15団体、生徒数百八十人にも及んだ。

昭和57年にはテレビ信州「日本民謡大賞」に出演。その後東京・静岡・山梨などで行なわれた「全国民謡大会」にも出演した。なお、桜井さんは詩吟も得意で、九段会館で行なわれた「全国詩吟大会」にも出演している。また、昭和60年から十数年全日本民謡協会副理事長を務め、「第四回全国民謡大会」では実行委員長も務めた。

平成10年にはカラオケに押さ

平成10年にはカラオケに押さ

平成10年にはカラオケに押さ



最近では、結婚式場でのレセプションとして「娘を嫁がせる親の気持ちを歌った民謡」お立ち酒「長持ち歌」の出演が好評で、旅館から秋宮までの「花嫁行列」での先触れの依頼も既に30回にも及んでいるとのこと。

桜井さんは「唄は人生を豊かにし、こころを癒すもの」として多勢の人に聞いて頂き、また口ずさんで頂けるよう、これからも努めたいと言われる。

桜井さんは「唄は人生を豊かにし、こころを癒すもの」として多勢の人に聞いて頂き、また口ずさんで頂けるよう、これからも努めたいと言われる。

桜井さんは「唄は人生を豊かにし、こころを癒すもの」として多勢の人に聞いて頂き、また口ずさんで頂けるよう、これからも努めたいと言われる。

定時制だより

定時制職員 植松 明彦

定時制祭

本校の定時制には定時制祭という行事が毎年七月にあります。これは通常の文化祭のような行事ですが、一年生から四年生まですべての生徒が親睦を深める学校行事として重要なものです。ここ最近ではボウリング大会と、焼き肉・バーベキューが二日間行われます。校友会が中心になり、準備等が綿密に生徒達によって計画されます。

焼き肉はすべて炭火でやります。火をおこすだけでも大変ですが便利な生活に慣れていくなかで、このようなことをすることはけっこう意味のあることではないでしょうか。生徒数は全日に較べると少ないのは確かですが、その分お互いの存在感があり、親しい関係にもなります。

ボウリング大会などもただ楽しめばいいのですが、普段の学校生活には経験できない貴重な経験もできる機会です。定時制ですから昼間働いている生徒が多くいます。その中で行事の準備などがたいへんですが、なんとかして時間をとりながらやっています。仕事での苦労も多くあるはずですが、そんな状況を考えますと、生徒達の楽しい姿を見ますと、何かいい思い出を学校生活のなかで一つでも多くつくり、卒業してもらいたいと思います。

昨年度卒業生の資格取得状況

全国商業高等学校協会では、珠算・電卓・簿記・ワープロ・プログラミング・ビジネス情報・商業経済・会計実務・英語の九種目の検定が、それぞれ年一〜二回実施されております。また、全国高等学校家庭科教育振興会では、和裁・洋裁・食物の三種目の検定が、それぞれ年二回実施されております。

昨年度は、商業科・会計情報科卒業生のうち一名が六種目で一級を取得、十七名が三種目以上で一級を取得しました。また、服飾科卒業生のうち三種目で六名が一級を取得、五名が二種目で一級を取得し、それぞれに表彰状を授与されました。それから、商業科ではITパスポート試験に一名、服飾科では色彩検定1級に二名、高度な資格に挑戦し合格する生徒が出てきました。

事務局だより

県下において、公立高校の同窓会名簿を使用したと認められる振込詐欺が断続的に発生しています。不振な電話を受けたいときは、最寄りの警察署へ通報して頂くようお願いいたします。

同級会や同年会を開催する場合には、本会より通信費の補助をしております。詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

同窓会報の購読は、終身会費五千円で毎年郵送されます。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記

色々な事がありました。本部支部各総会に親しく御参加され居りました、山田和男先生(88歳)24年12月23日、北澤忠義先生(86歳)25年3月4日に他界され多くの同窓生にショックを与えられました。両師共にそれぞれの本職を全うされながら多くの公職をこなされました。特に北澤先生は通算37年間本校で教鞭を執られました。ご冥福を祈ります。

文化部の料理教室で伊藤副会長が講師となり11月12日に科の葉会館で行なわれた「巻き寿司を上手に創ろう」に多くの会員が参加、にぎやかに楽しみながら最後は試食に皆満足し再会を約して解散しました。